

活動名:さいとう医院杯フットサル大会 U-10 の部
日 程:平成29年2月11日～12日
会 場:小野町営体育館
参 加:E4クラス12名 (E4A:6名、E4B:6名)
帯 同:設楽コーチ
結 果:E4A 優勝、E4B 6位/ 16チーム中
対戦結果:PDF 参照
報 告:設楽コーチ

毎年参加させていただいている「さいとう医院杯フットサル大会」のU-10の部に2チームをエントリーさせていただき、12名の参加者をリフティングの上位順に半分の6名ずつに分け出場させていただきました。2チーム参加させていただけたことは小野FCさんのご配慮により実現し、選手たちにとってとても幸せなことです。

他チームは控えの選手がなかなか試合に出られない中、アーレの選手たちは各チームで6試合をそれぞれしっかりとプレーできる時間を与えられました。

さて、帯同コーチも今回は一人でしたので、A・Bの2チームを見させてもらいましたので、それぞれのチームを分けて報告せず、総合的な感想を記したいと思います。

2チームの選手構成は、リフティングの回数で分けただけでしたが、残念ながら試合結果は上下に分かれてしまいました。リフティング回数による差はプレーの差にもつながることを選手たちも感じてくれたことと思います。今後もさらにリフティングの回数に拘って、沢山ボールを触り、努力してメンバーで切磋琢磨し、レベルアップを図ってほしいと思います。

試合での主な感想としては、以下のとおりです。

○Aチームについて

- ・予選リーグの初戦からディフェンディングチャンピオンの「富田西」さんとの試合を接戦で勝利することができ、波に乗ってくれると思いましたが、二試合目の「守山」さんとの試合の合間に昼食をとって、しっかりと食べてしまったことで動けずに0:7の完封で負けをしてしまいました。これは私が昼食のとり方を伝えなかったミスでした(泣)
- ・アーレ、富田西さん、守山さんが1勝1敗で並び、「富田東」さんとの試合でどれだけ点が取れるかの得失点差の勝負となり、低学年の「富田東」さんには申し訳なく多くの得点をして、何とか2位の1位通過で4強に入ることができ、二日目の1位リーグに突破しました。私は1位リーグに突破するだけでもこのメンバーでは凄いことだと思っていましたが、まさか優勝してくれるとは前日の試合後には思っていませんでした・・・。

- ・二日目の戦いは、3試合とも果敢にボールを奪いに行き、気迫のこもったプレーで、危なげなく勝ち切ってくれました。そして目標としていた「優勝」を勝ち取り選手たちが試合を重ねるごとに逞しくなっていく姿を見て頼もしく感じました。
- ・最後の「富田西」さんとの試合は、お互いに二勝で迎えた「決勝戦」となり、選手たちは外からのコーチングも聞こえないような集中力で、まさにみんなが「ゾーン」に入っていたようなプレーでした。

○Bチームについて

- ・初日の予選リーグでAチームが1勝1敗の中、Bチームはあぶなげなく2勝して迎えた「小野FC」さんとの試合で、1位通過できるかの運命の最終試合でしたが、「小野FC」さんの選手たちの個人技が上回っており、前半から大量失点をしてしまい、残念ながら敗戦し、二日目は二位リーグに回りました。しかし、ここで3勝したら両チームが二日目の1位リーグに進出することになると、凄いことになるなと思っていましたが、神様はそんなに甘くないことを教えてくれました（笑）
- ・二日目の2位リーグは、初戦の「常葉」さんに散々相手陣地でのプレー時間が多い中シュートまでいけずにもったいない引き分けという結果になってしまいました。「行健」さんには前半から多くの得点ができ、危なげなく勝利し、最終戦の「守山」さんにはAチームが初日に大差で負けたチームでもあり、全く歯が立たずに完敗でした。しかし、2位リーグの2位という素晴らしい結果でした。

総評として

- ・リフティング回数で分けた2チームでしたが、Aチームは積極的な子が多く、Bチームは、控え目な子たちが多く、そのためBチームに対してどんな試合になるのかを心配していました。しかし、そんな心配は物ともせず、それぞれに相手に立ち向かって行くプレーを見せてくれて、私も二日間を通して試合で感動を与てもらいました。
- ・キーパーがいないメンバーの中で、私が勝手に決めたポジションを素直に聞いてくれてプレーしてくれました。キーパー役は各学年でも同じようにコーチからお願いして決めているため、ずっとキーパーを志願してくれていたりょうたくんには感謝です。他チームは決まったポジションを与え試合を通してメンバーを構成していますが、アーレの選手たちは即席ポジションです。今回のメンバーに限らずアーレの選手たちだからできるオールマイティのプレーであり、普段のアーレのオリジナル練習から育成された柔軟なパフォーマンスだと言えます。

- ・良くあるコーチングとして、普段からできないことを試合中に言う指導者がいますが、私たちが常に心がけていることは、選手たちが個々に気持ちを高めてくれるようなコーチングです。

相手に立ち向かっていく気持ち、自分が責任をもってプレーする気持ち、諦めない気持ちを試合の前にミーティングで伝えていきます。聞いている選手たちの目を通して代わっていき姿を見て、次の試合内容がわかります。今回の選手たちは両チームとも12人が試合に挑む姿勢がしっかりと出ていました。前回の喜多方大会とは違い、やはり大きな大会を経験して少し大会に挑む気持ちが代わってきたような気がしました。そのような気持ちがでてきた子供たちの成長が今後楽しみです。

気候が悪い中、子供たちのために二日間、朝早くからお越しいただき、アーレマフラーを巻きながらアーレの絆をもって応援していただきました保護者の方々へ感謝いたします。今回の大会を通して、それぞれのお子様日々の練習を頑張り、試合を通して他チームと戦う姿勢を見て、私たち以上に保護者の方々はとても成長したと感じられたと思います。「ゴールデンエイジ」に入っている年代の子供達ですので、今の努力が将来に繋がる大切な時期です。今後ますます子供たちが努力できる環境づくりや様々なサポート、またクラブへの信頼やご協力をいただけることを願い報告といたします。

最後に、齋藤医院の委員長さま、小野FCの関係者の方々、参加されたチームの方々に感謝いたします。また、来年のアーレ出場枠も是非宜しく願いいたします。

追伸（来年度の小野FCさんとの連携について）

来年のことについてここで少し4年生保護者の方々へお知らせします。

小野FCさんとは今まで仲の良いクラブ関係を築いていますが、小野FCのスタッフの方々からご相談をいただいております。それは、来年度の小野FCさんは各カテゴリーにおいて選手人数が少なく、6年生以下チームや4年生以下チームで各1チームが作れない状況だそうです。そこで仲の良いアーレと連携して両チームの選手たちが試合の経験ができるよう合同チームで試合に出場することを検討しております。

アーレの新5年生たちは毎年ですが6年生以下の大会にはなかなか出場できない年度になります。そこでNACカップやさいとう医院杯にアーレの新5年生たちで希望する選手を募り、小野FCさんと合同チームで大会に出場し経験してもらうことを考えております。お互いのチームの選手たちにとって良いことと考え違う地域の仲間ができ、深い交流を通して、子供たちの身心ともに成長できる機会となり素晴らしいことだと考えております。来年度に限ってのことですが、こんな連携を図る環境づくりができればと

考えていますが、保護者の方々のご理解をいただかないと実現しないので少しここで
伝えさせていただきました。ご理解とご協力をいただけると幸いです。

コーチ：設楽







